

よこすか育成通信

題字：横須賀市長 吉田 雄人

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

ガンバってます!! 非行防止キャンペーン



11月8日 京急長沢駅周辺

長沢・野比・北下浦中学校区

同じ気持ちを持った48人が「非行防止キャンペーンです」と声を出しチラシを配りました。最初は小さな声だった中学生が段々と自信を持って近寄ると、地域の人たちは快く受け取ってくれました。一方、地域の人との接点が少ない中学生が、耳を傾けて話を聞いている姿なども見られました。

午前中行われていたイベントの方から、開始前にお味噌汁を頂き、温かい地域のおもてなしにも触れたキャンペーンでした。

(小幡 玲子)



11月9日 浦賀駅周辺

浦賀・鴨居中学校区

当日集まったのは浦賀中学校から生徒8名、先生4名、鴨居中学校から生徒9名、先生1名、青少年育成推進員9名・保護司1名の合計32名でした。加えて浦賀警察署員、市職員も立ち合い、中学生と大人と一緒に非行防止と児童虐待防止を通行人に呼びかけ、キャンペーン用のチラシ、ティッシュ、マスクを配布しました。

参加生徒からは「最初はとても緊張して心臓がはりさけそうだった」「やっているうちに、だんだん楽しくなり、良い体験になった」「人の気持ちや相手の立場が少しわかるよう

になった」「意識したのは笑顔と人に対する向き」「仕事を果たした安心感」「この経験をこれからの生活に生かしたい」「機会があればまた参加したい」などの声も聞かれ、14時頃に無事終了しました。(濱口 幸次)



11月15日 京急久里浜駅周辺

久里浜・神明中学校区

日射したっぷりな晴天のもと、生徒24名、先生5名、保護司1名、町内会長2名、市職員1名、推進員12名、総勢45名の参加で行いました。

各グループで旗を持ち、駅周辺と商店街2か所に立ちました。昨年同様商店街で食の祭典が行われていて、いつもより人通りが多いようでした。

最初は恥ずかしそうに照れる姿もありましたが「元気よくやろうね」との声掛けもあり、次第に大きな声が聞こえてきました。どのグループもチームワークよく丁寧にチラシを配布し、最後はホッとした顔あり、満足そうな顔ありで終了となりました。青空とともに気持ちの良いキャンペーンになりました。

(五井 直子)

11月22日 衣笠駅周辺

池上・衣笠・長井中学校区

秋晴れで例年より温かなこの日、中学生と三浦学苑生徒55名、中学校校長・教員・地域連絡会会員25名の総勢80名で、駅前2か所と商店街3か所に分れてキャンペーンを実施しました。

「非行防止キャンペーンを行っています。ご協力お願いします」ショッピングなどで行きかう人々に、生徒たちが大きな声で呼びかけ、チラシとティッシュを笑顔で配り、受けとってくれた方も笑顔でした。



彼らの活躍により、30分ほどで終了。青少年に向けてのイベントに青少年自身が呼びかける側に立って参加するのは、大変意義があると思います。このキャンペーンで多くの人たちが、非行防止に関心をもってくれたことを確信します。(番場 清隆)



11月22日 京急田浦駅周辺

田浦中学校区

秋晴れの土曜日15時から、のぼり旗をたて非行防止キャンペーンを行いました。田浦中学校の生徒・先生・PTA役員をはじめ、田浦警察署員、青少年育成関係者ら29名が参加しました。

生徒を中心に、改札口前と商店街の通りに分散し「非行防止キャンペーンです。ご協力をお願いします!」と乗降客や街行く人に呼びかけ、チラシとティッシュを配りました。受け取ってくれた方から「ご苦労さま、がんばってネ!」と励ましの言葉をもらい、生徒は「ありがとうございます」と笑顔で接していました。チームワークよくそれぞれ協力し合い、用意したチラシとティッシュは予定より早く配り終わりました。地域連絡会会長より労いの挨拶があり、キャンペーンは無事に終了しました。(佐藤 一男)

11月22日 京急北久里浜駅周辺

公郷・大矢部・岩戸中学校区

小春日和の夕方、北久里浜駅前には3中学校の生徒たち23名を含む総勢50名が集まりました。初めに、岩戸中学校長より「明るく元気よくそして楽しくやるように」とのお話があり、市長からは「チラシとティッシュを受け取ってもらえたときのうれしい気持ち、受け取ってもらえなかったときの悲しい気持ち」というお話がありました。生徒たちは明るく元気よく「非行防止キャンペー

ンです。ご協力お願いします」と笑顔で声を出し、道行く人たちにチラシとティッシュを手渡しました。30分ほどで配り終えたあと、生徒たちは市長にサインをいただきました。そこには「やれば、できる!」という中学生にとって最高の言葉がありました。(R. M)



11月22日 エーコープタケヤマ店周辺

大楠・武山・長井中学校区

快晴で暖かい陽射しの土曜日朝10時に、非行防止街頭キャンペーンがスタートしました。今回は武山地区で10年以上、防犯・育成活動を行っているユースネット武山の防犯キャンペーンと合同で開催しました。小中学校の子どもたち、青少年育成推進員、少年補導員、学校関係者も加わって、エーコープタケヤマ店店頭の歩道を中心に展開、総勢39名で実施しました(ユースネットではエイヴィ武山店店頭でも実施)。

悲しいかな(?)西地区には駅がありません。しかし、スーパーのお客さんや道行く人に非行防止、防犯を呼びかけながら、チラシ等配布しました。人通りは少なかったのですが、地域の老人や若い主婦、高校生も笑顔で受け取ってくれ、30分足らずで200枚を配り終わりました。

今後も西地区での効果的なキャンペーン活動を模索しながら、3中学校区が協力して、青少年の非行防止、健全育成の活動を続けていきたいと思ひます!(二宮 嘉之)



12月13日 馬堀海岸駅周辺

馬堀中学校区

新旧の生徒会役員8名、地域連絡会30名、総勢38名で今年度市内最後のキャンペーンを行いました。

最後に新生徒会長が「新しい生徒会長としての最初の活動で人と接することの大切さを学びました」と締めてくれました。

(矢口 さをり)

第9回中学校対抗ウォークラリー大会

12月7日 田浦中学校周辺

朝、電車の中で中学生と一緒にになりました。「どこの駅で降りるのか」「優勝するには走った方がいいのか」等、ワクワクしているのが話し声からわかりました。

青空に響きわたる田浦中学校の帯川弘人さんの選手宣誓で始まり、くじ引きゲームで決めた出発順で36チームが田浦中学校をスタートしていきました。

自衛隊施設の横を通り、田浦駅を通り抜けます。駅の跨線橋から3つのトンネルが見え、作られた年代がクイズになっています。中学生は持てる知識をめぐらせ解いていました。この字坂の長さクイズでは、一步の長さから歩数で予測していました。

谷戸の古い街並みを抜けた、港が丘の新しい



住宅街の公園の芝生の上で、たくさんのチームがひなたぼっこをしながら文字並べ替えクイズに取り組みました。次の公園では、3種類のゲームを5人で力を合わせ、にぎやかに楽しんでいました。

約2時間歩いて中学校に戻ってくると、推進員の作った温かい豚汁とおにぎりが迎えてくれました。お腹も満たされ、体育館でドキドキしながら結果発表。クイズの正解率、ゲームの得点、タイムで順位が決まります。優勝は長沢Aチームでした。

◎優勝チームにインタビュー

ゴールしたのが最後だったので「賞はとれなくても楽しかったからよかったね」と話していたら、まさかの優勝でうれしかった。勝因は「推進員のサポートがあったからだと思う」と感謝していました。トンネルが多く、全体的に楽しいコースでした。ゲームでは全然点数とれなかったのに、神社2カ所で(高校の)合格祈願と優勝祈願をしたのがよかったとも話していました。

◎ポスター入賞者のコメント

今回ウォークラリーのポスターの募集を知り、普段車で通る道の景色がふさわしいと思いこの場所を選びました。横須賀の豊かな自然を楽しんでほしいという気持ちを込めました。(大津中学校 岡 春夏さん)

◎豚汁部隊の方へインタビュー

急にご飯を炊くというアクシデントがあり、とても大変だったそうです。初めてのメンバーが多かったにもかかわらず皆が手際よ

く動いてスムーズにことが運び、時間が遅れることもなく完食だったのでよかったと思うと話してくれました。(松元 陽子)



わんぱくフェスティバル2014

10月26日 県立保健福祉大学

朝から晴れ渡ったすがすがしい秋空のもと、今年もわんぱくフェスティバルが開催されました。10時の開始前から親子連れが続々と集まり、ステージでは開会式が厳かに行われました。

外では子どもたちが早速チョコバナナやポップコーンを求め、紙ヒコーキや傘袋ロケットを飛ばしていました。しばらくすると人だかりができたところがあり、何かかと思いのぞいてみるとマジックショーで、そのマジックは老若男女だれでも楽しめる内容であり、見るだけでなく参加もできました。

また体育館での『ジュニアリーダーと遊ぼう』では、子どもたちが思いっきり体を動かし、ボーイスカウトではロープ結びや火おこしなど普段体験できないものもありました。

ステージに目を移すと体操やダンスでは楽しさが伝わり、吹奏楽や箏の演奏では耳に心地よい音が残りました。そのステージ上を圧巻したのがけん玉でした。小学生全国大会男子の部で準優勝した5年生を中心に5人の小学生が次々繰り出す技はまさしく神業で観客は目を奪われました。

意外に人気もの?だったのが、横須賀市のゆるキャラ「スカリン」と人権イメージキャラクター「人KENあゆみちゃん」とわれらの「チョコバナッピー」。常に子どもたちに囲まれていました。

楽しい時間はあっという間にすぎ、閉会式では芦澤実行委員長より、入場者数4000人との発表がありました。感謝の言葉と来年への期待を述べ終了しました。(R. M)



第47回神奈川県青少年指導員大会

11月9日 小田原市生涯学習センター

小田原少年少女合唱隊の素晴らしいコーラスから始まり、60名の青少年指導員に感謝状が贈呈されました。



横須賀からは、塚越五男さん（長沢中学校区）と三浦生志さん（衣笠中学校区）が表彰されました。次に小田原市青少年育成推進員協議会から「東日本大震災被災地スタディツアー」と「ぼうけんの旅にでかけよう」と題して活動発表がありました。続いて「社会的参照～大人が子どもを見守る意味～」というテーマで児童健全育成推進財団理事長の鈴木一光氏が講演されました。子育ての目的は、子どもが将来、精神的・経済的に自立し、大事なことを自己決定し、社会と調和した生活を送ることができるようになること。そのために大人・親は子どもが小さい時から関わること、子どもの参考になる知見を持つことが必要であると話されました。自身の子育てを反省するばかりですが、地域の大人として子どもたちに関わるお手伝いができるよう心掛けたしたいと思います。（渡辺 美子）

技術研修会

11月12日 青少年会館

今年度の講師は協議会の吉田氏が担当し「紙ヒコーキ作り教室」を開催しました。

折り方のコツなど、プロジェクトを使用した解りやすい説明でしたが、複雑な工程に悪戦苦闘しながらも、参加者全員が3種類のヒコーキを何とか完成させました。それぞれの飛ばし方のコツを習った、かつての子どもた

ちは、万感の思いを乗せてホールいっぱい思い切り飛ばしていました。グリーンのA4コピー用紙で作った紙ヒコーキが優雅に飛び交う様は、時間を忘れて眺めていられる程美しいものでした。

今回の紙ヒコーキ作りを、青少年へのコミュニケーションツールの一つとして活用していただければ幸いです。

（研修研究部会長 中尾 洋子）



活動体験発表会

2月14日 青少年会館

研修研究部会が主催する本会では、毎回、複数の中学校区と研究部会が、それぞれの部会の特徴や、年間活動報告書だけでは伝えきれない細かな内容を発表します。そのため、育成推進員相互の有益な情報交換の場となっています。また、回を重ねるごとに、PTAや町内・自治会の方々の参加も増え、育成推進員の活動のアピールの場としても、機能するようになってきました。（小林 正和）

不入斗中学校区 木藤ひろみさん

2月15日

横須賀市民表彰(青少年の指導育成に貢献)と神奈川県青少年育成活動推進者表彰を受賞しました。

♪ ゆうやけこやけ ♪

ジュニアリーダーという名前を聞いたことのある人は多いと思う。横須賀市が、地元子ども会のレクやキャンプの指導者として養成している若者たちである。1年間の養成講習会を経て、地元の他、ジュニアリーダーズという団体に所属し市の行事などで活躍している。ここ数年、ジュニアリーダーズ卒業後、子ども会指導者協議会に所属して後輩たちを見守ったり、県の子ども会連合会でスキルアップしたりと、エネルギーを感じる。また、現役と先輩たちとの交流も増え、夏のイベントでは親子ほどの年の差も気にならない大盛況であった。「子育てが終って、キャンプの引率にまた行きたいな」という声もあり、50周年を目前に、1700名を越す修了者は、子ども会活動の縁の下の力持ちになりそうだ。(Y. O)

編集後記：

創刊号から、微力ながら編集に参加してきました。ベテラン・新人の分け隔てなく、自由に意見交換しながら第17号まで発行することができました。今までは白黒でしたが、第18号からカラーで発行してはとの発言が部会員からあり、印刷費用面や紙面の構成を検討した結果、カラー印刷に踏み切ることにしました。

（編集担当 里見 規矩夫）

「よこすか育成通信」第18号
発行/横須賀市青少年育成推進員連絡協議会
会長 芦澤 雄一
〒238-0016 横須賀市深田台37番地
横須賀市役所こども育成部
こども育成総務課（青少年会館）
TEL 046-824-5377
http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/3405/g_info/1100050659.html